		型式		G <mark>175</mark>	G200			
適用範囲		質 量 kg		1,730	2,000			
	通用 配出							
		取付可能機体質量(単位 t)		19~21	19~21			
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検	査	基	準	値
	旋回ベアリング	取付ボルトサイズ	mm					
		締付トルク	N·m					
旋回			kg·m					
旋回装置		取付ボルトサイズ	mm					
		40/L) > E	N·m					
		締付トルク	kg·m					
油	シリンダ ー 置	開閉シリンダー (図 7-21 参照))					
油圧装		伸縮量	mm	50	50			
		測定時間	分	5	5			
	カッター	カッターの隙間 (図 7-22 参照)						
		基準値	mm	0.5~1.0	0.5~1.0			
圧砕		許容限度	mm	3. 0	3. 0			
切		摩耗限度	R	5. 0	5, 0			
断部	圧砕ポイント	圧砕ポイント (個別図参照)		図 7-29	図 7-30			
		基準値(測定箇所)	mm	4	3			
		許容限度	mm	50%以下	50%以下			

	検	査 ៛	準	値	
(
_					
			/		

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

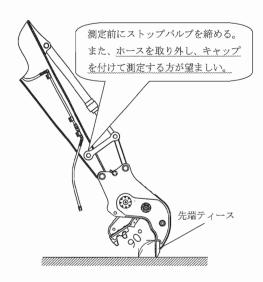


図 7-21 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①エンジンを始動する。
- ②車両を平坦な場所に移動する。
- ③アタッチメントのフレームの先端ティースと地面が垂直になるようにする。(図参照)
- ④アームを最大開口まで開く。
- ⑤エンジンを止める。
- ⑥ストップバルブを締める。(この時、ホースを取り外し、キャップを付けた方が望ましい。)
- ⑦この状態で5分間放置し、測定を行う。
- ※油温は55℃までであること。

コンクリート小割圧砕具

2. カッターの隙間測定

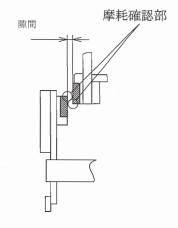
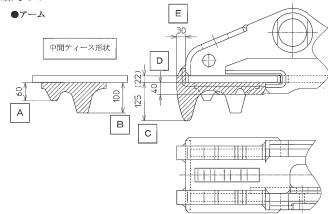


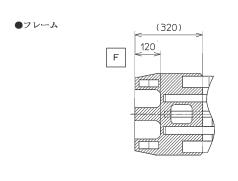
図 7-22 カッターの隙間測定

3. 基準値

- * 「 () 」寸法は参考値
- * 単位はmm

(1)型式 G-7





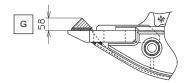
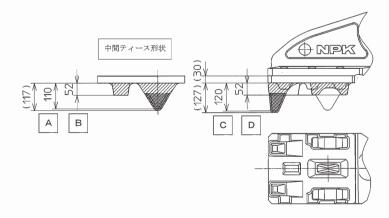


図 7-23 圧砕ポイント基準値

コンクリート小割圧砕具

(2)型式 G-12J, G-15JEL

●アーム



●フレーム

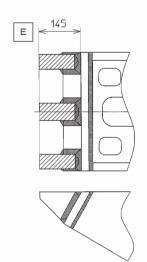
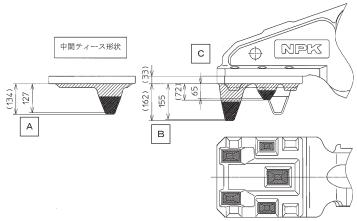


図 7-24 圧砕ポイント基準値

-193-

(3)型式 G-17J, G-20JEL





●フレーム

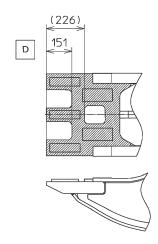
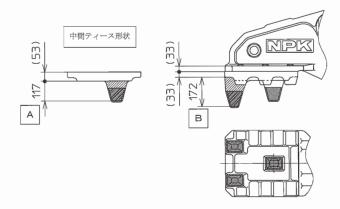


図 7-25 圧砕ポイント基準値

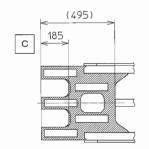
コンクリート小割圧砕具

(4) 型式 G-18J

● アーム



●フレーム



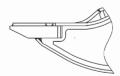
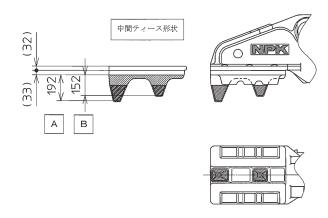


図 7-26 圧砕ポイント基準値

-195-

(5)型式 G-28J.G-30JEL

● アーム



●フレーム

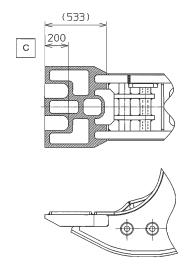
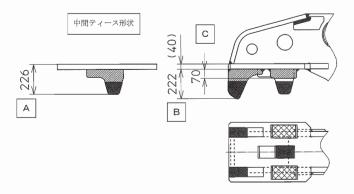


図 7-27 圧砕ポイント基準値

コンクリート小割圧砕具

(6) 型式 G-40

● アーム



●フレーム

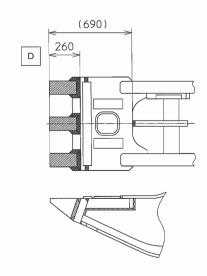
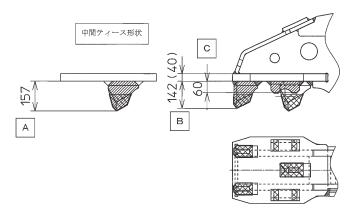


図 7-28 圧砕ポイント基準値

(7)型式 G-175

● アーム



●フレーム

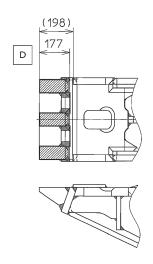
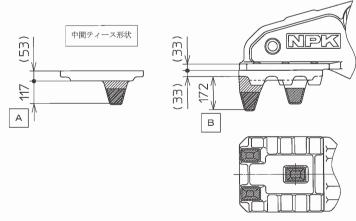


図 7-29 圧砕ポイント基準値

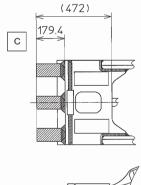
コンクリート小割圧砕具

(8)型式 G-200

● アーム



●フレーム



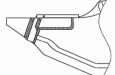
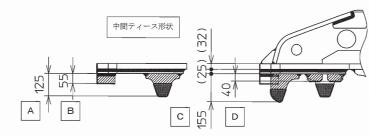


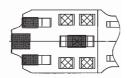
図 7-30 圧砕ポイント基準値

-199-

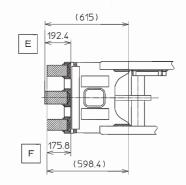
(9)型式 G-20MB

● アーム





●フレーム



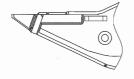


図 7-31 圧砕ポイント基準値